


新しいお父さん
紹介するわね



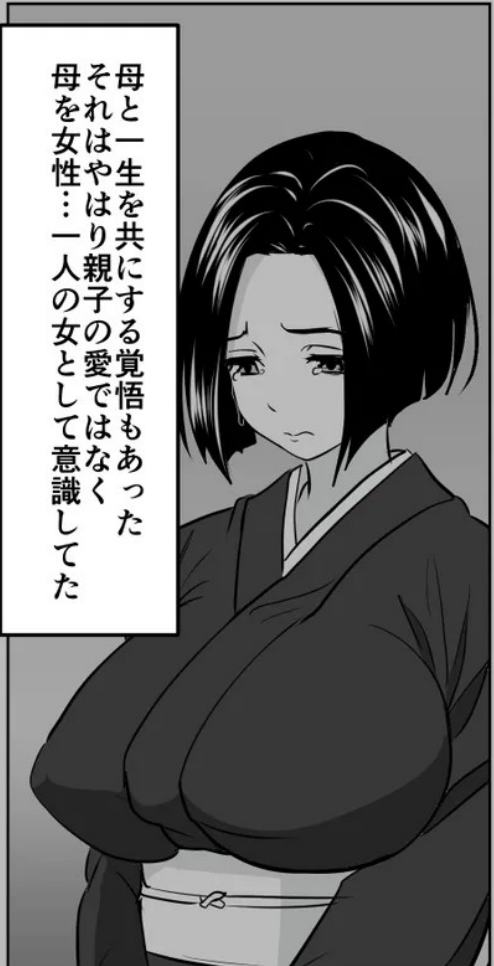
たっくん
この人と
結婚するから



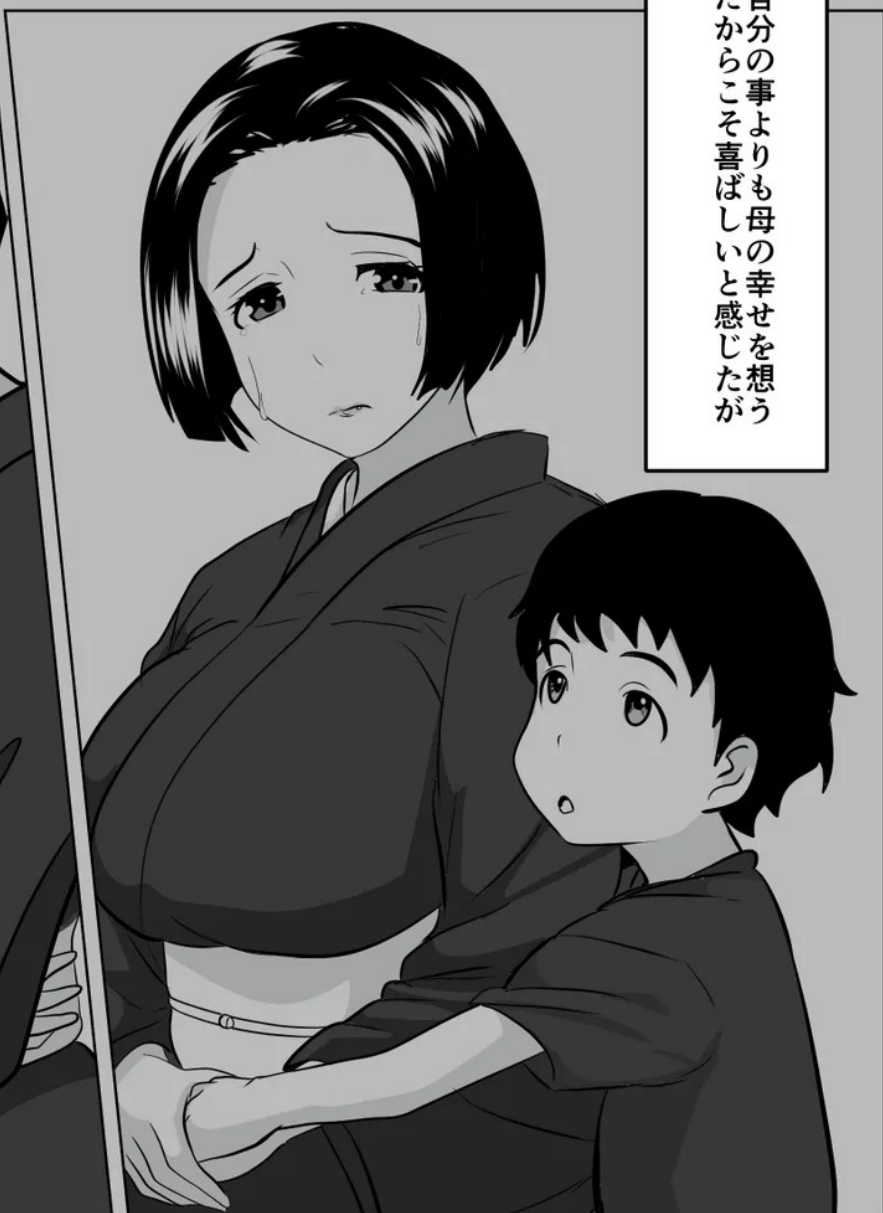
はあ？




父親が亡くなってから10年
独り身で寂しかったのだから
紹介したい人が居ると言われた時は
嬉しさもあったが悔しさもあった



母と一生を共にする覚悟もあった
それはやはり親子の愛ではなく
母を女性…一人の女として意識してた



自分の事よりも母の幸せを想う
だからこそ喜ばしいと感じたが



あまりにも老けた男を
紹介されるとは
夢にも思わなかった

卓也君驚いただろうね
わしがあまにも年寄で



えっええ…その年齢を
お伺いしたいのですが

わしは御年82歳じゃ

82歳…

その失礼ですけど…
母との結婚は止
めてくれませんか

卓也なんで
そんな事を…!

わしが年寄で
何の問題があるんじゃ





それじゃ

なるほどのお
卓也君の
母の想いがよく分かった



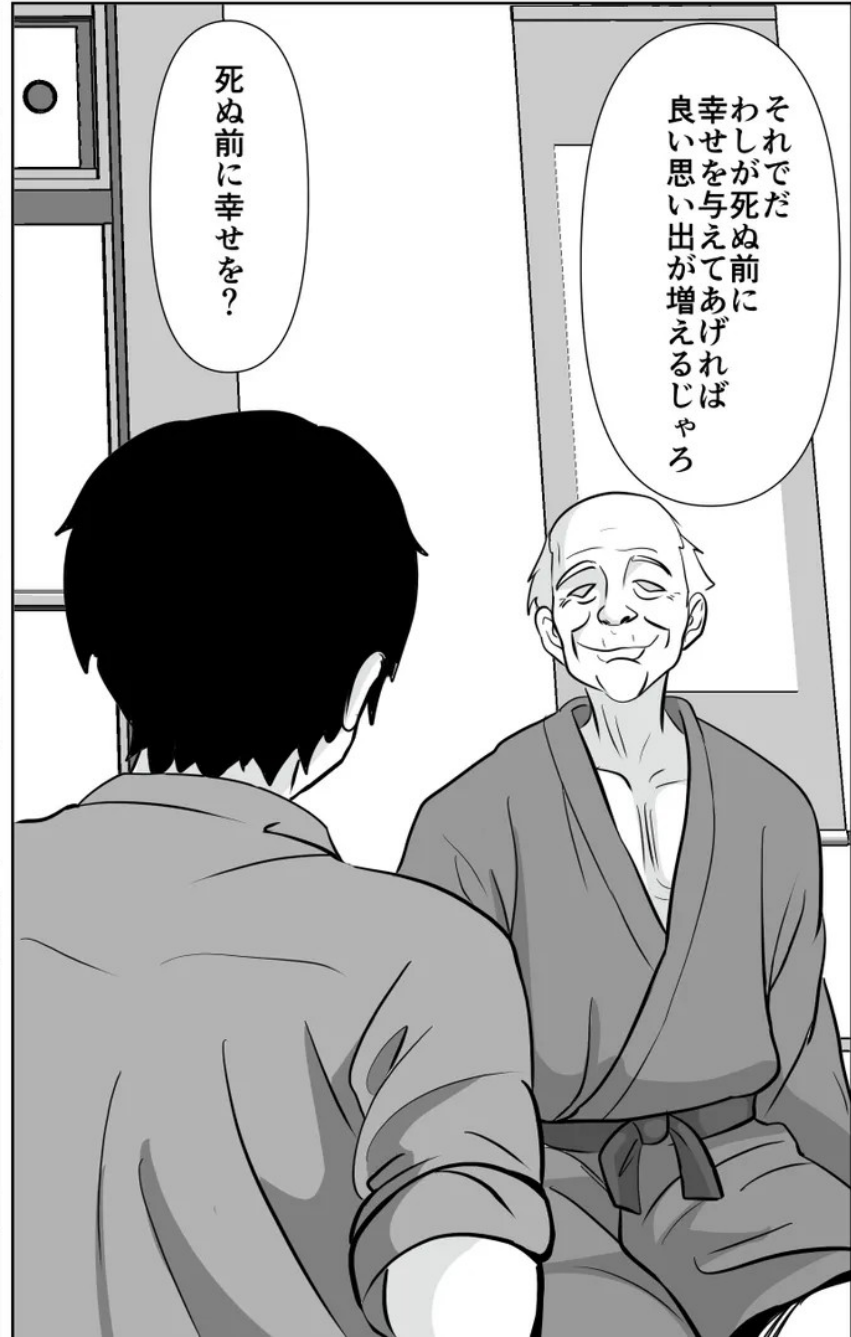
また母を悲しませることは
したくないんです

母は父を無くして
寂しい思いをしてきました



勝さん…

どれ、陽菜さん
よろしいかな

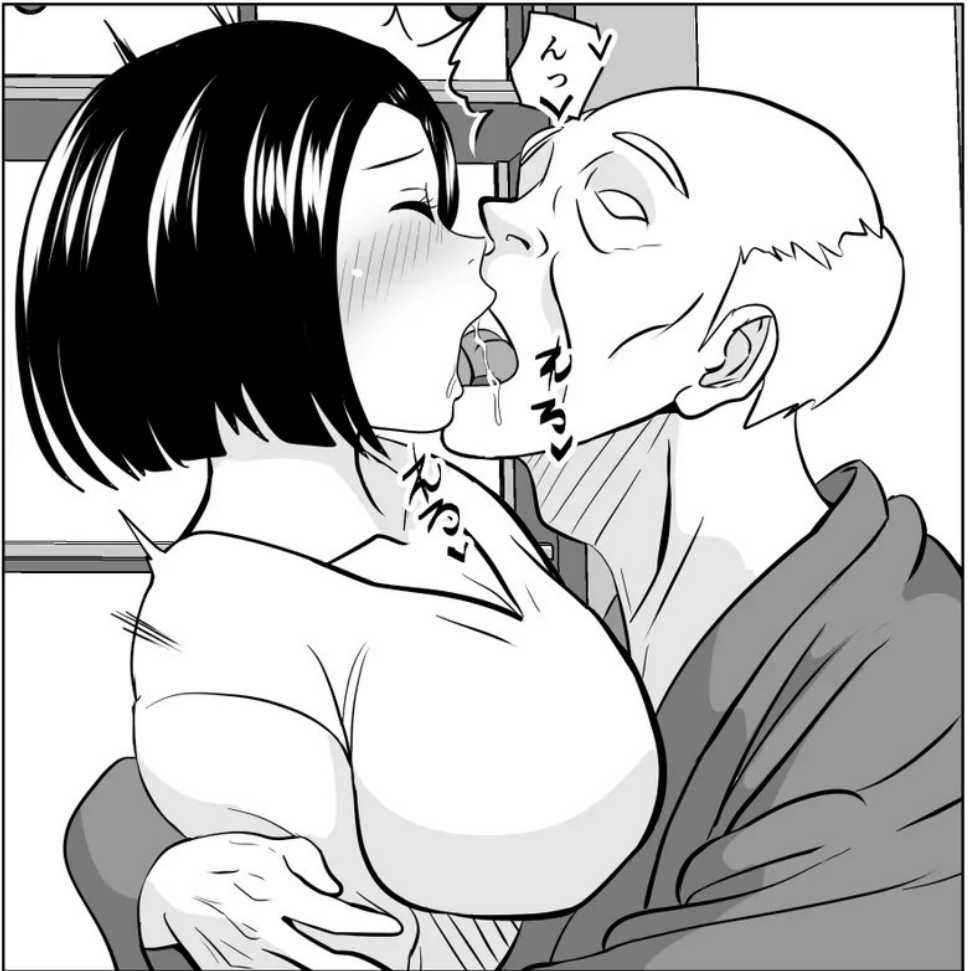


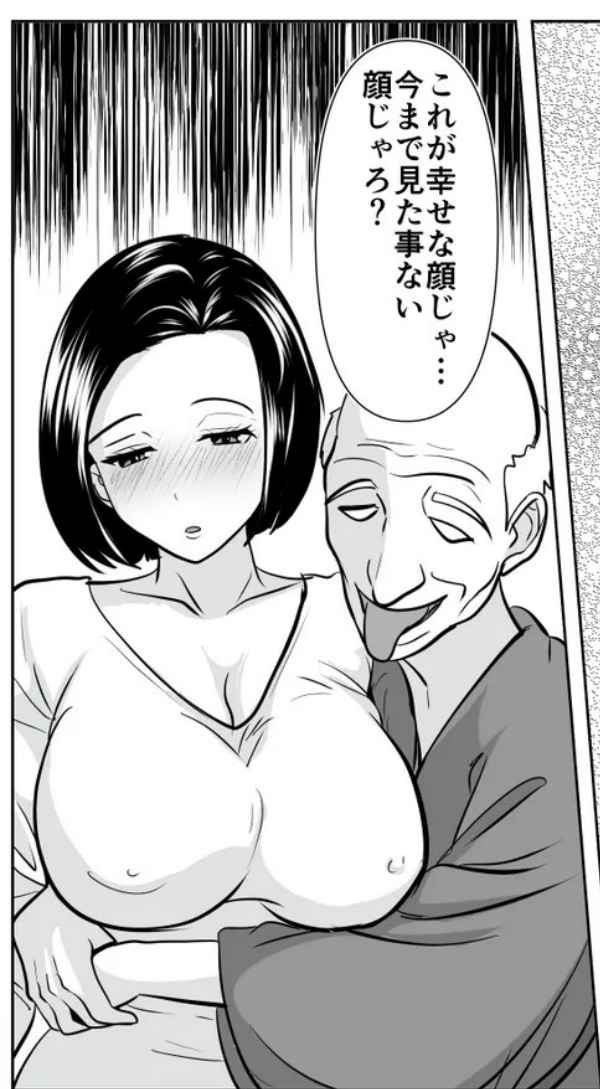
死ぬ前に幸せを？

それでだ
わしが死ぬ前に
幸せを与えてあげれば
良い思い出が増えるじゃろ

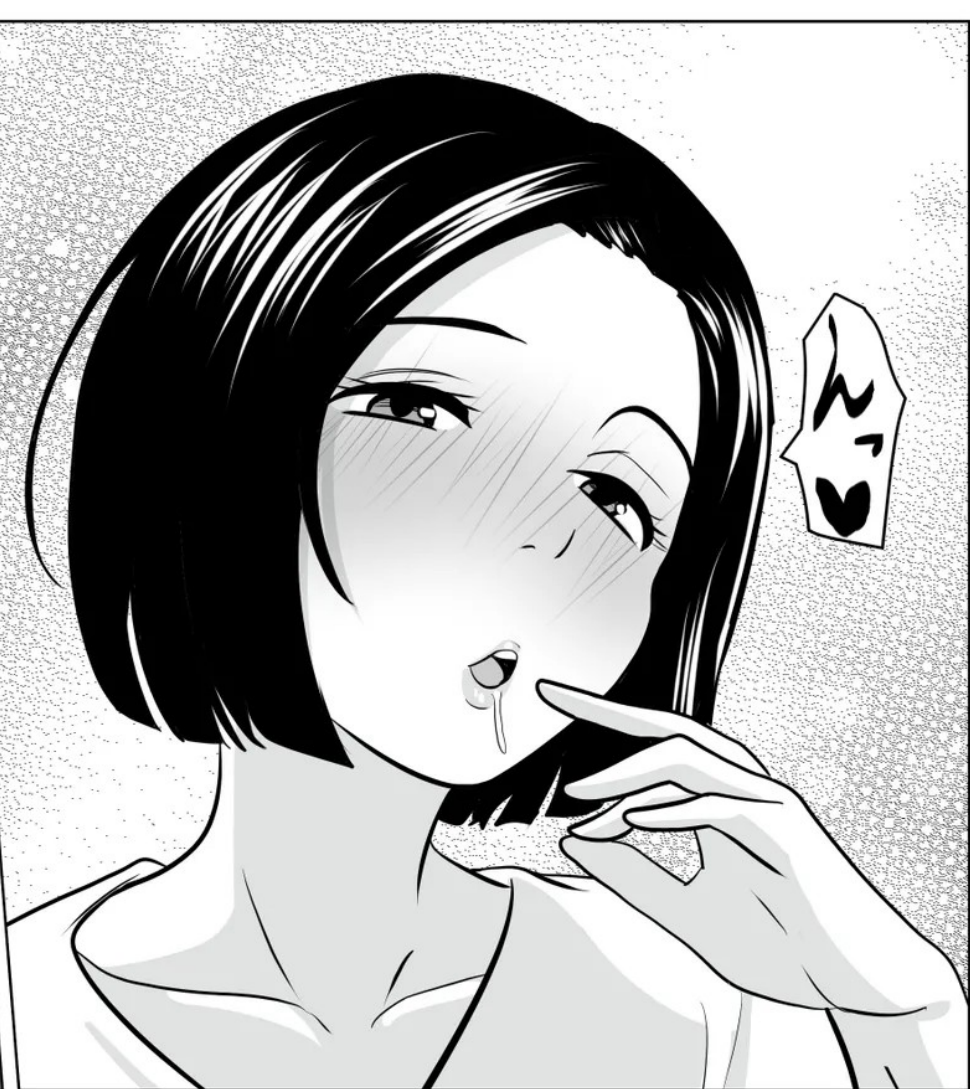


100円





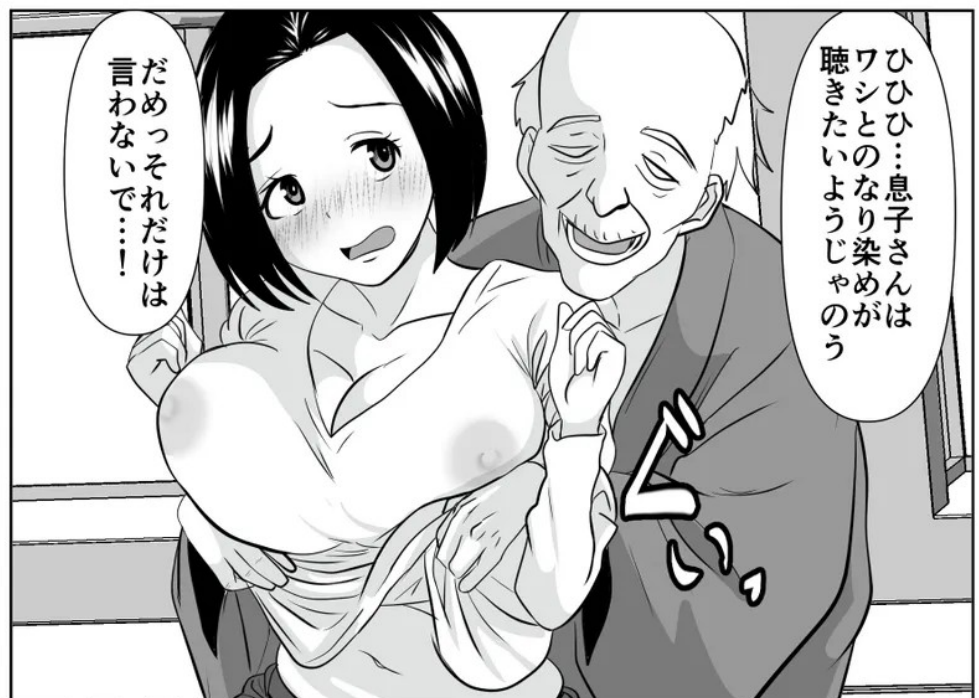
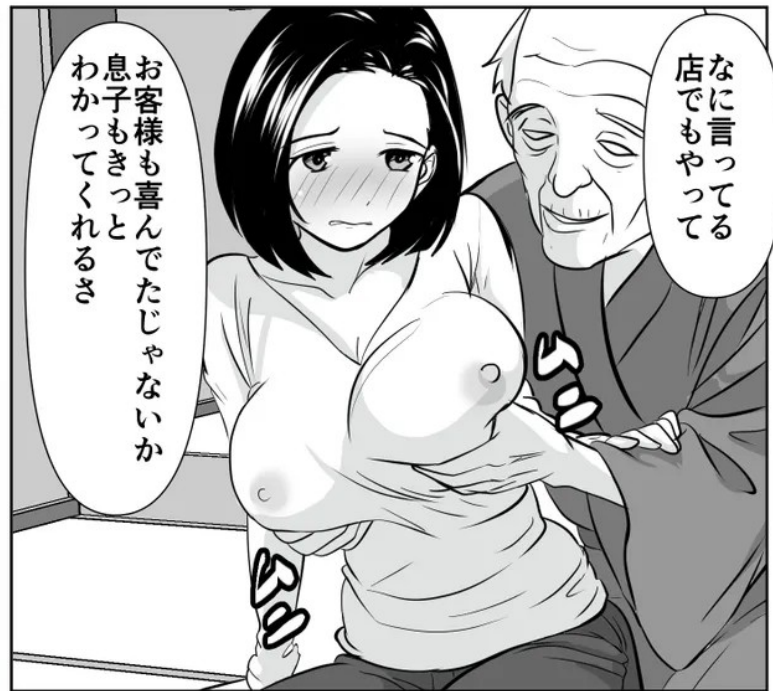
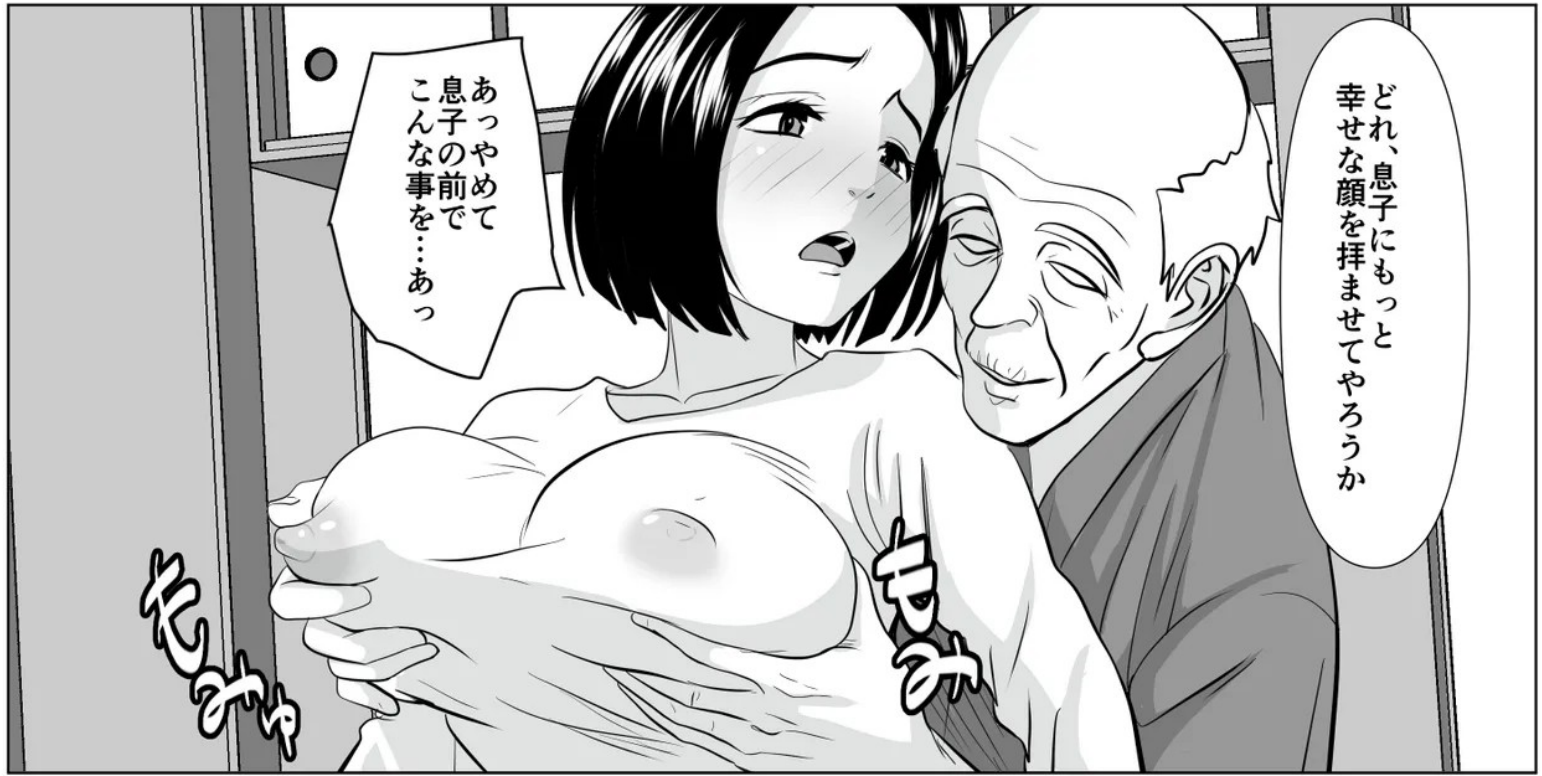
これが幸せな顔じゃ…
今まで見た事ない
顔じゃろ？



ごめんなさい
はしたない母親で



か、母さん…

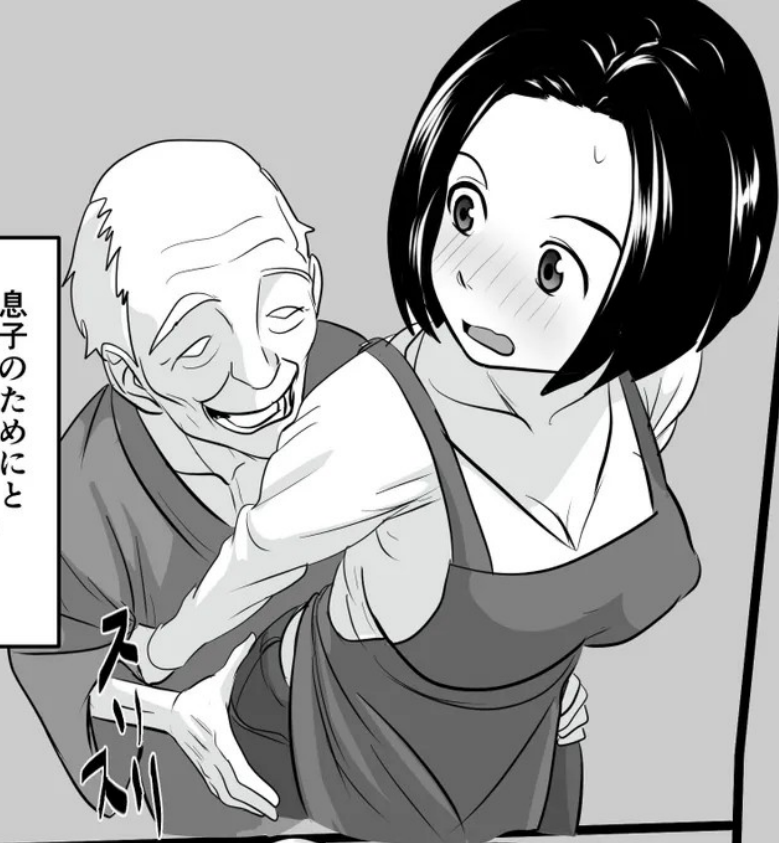




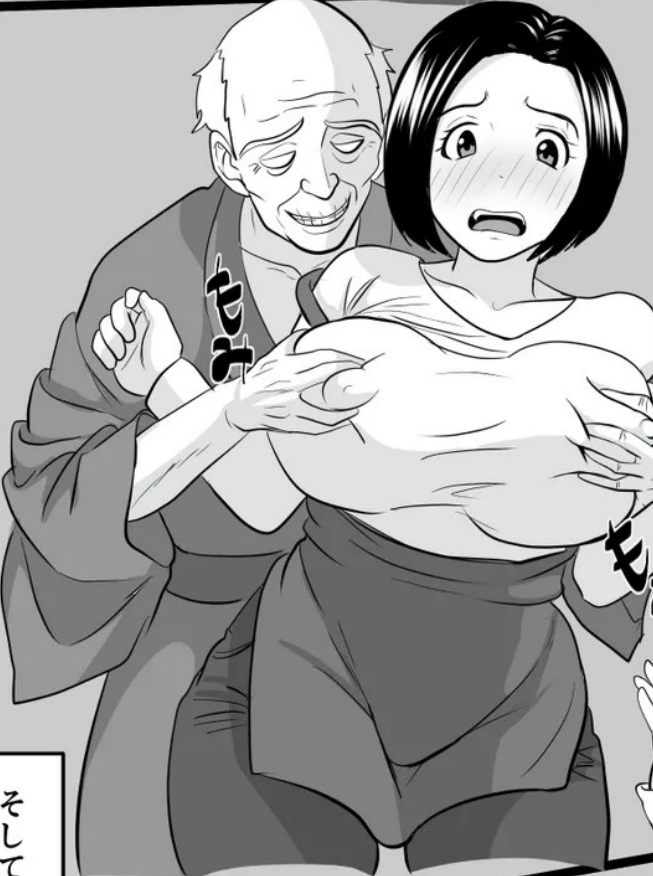
陽菜がわしの店に働いてからずっとセクハラしてたんじゃ



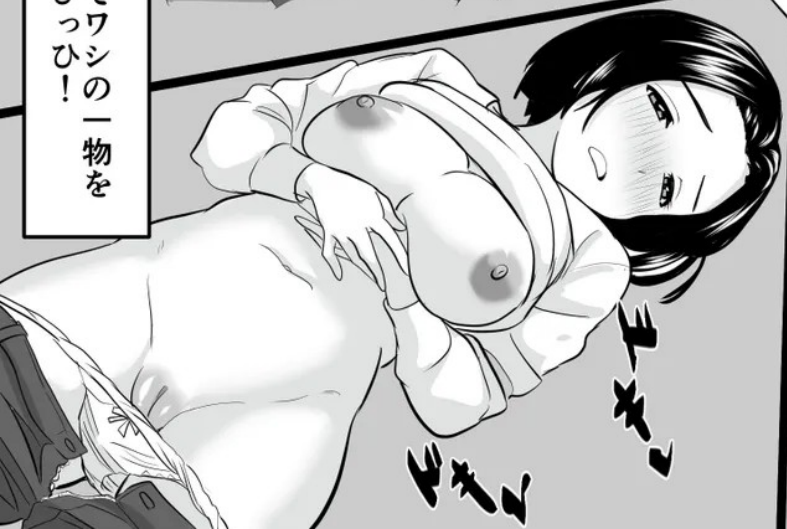
息子のためにと我慢してたんじゃろ



けどなあ何回も何回もお花を慈しんでやっとなんじゃ

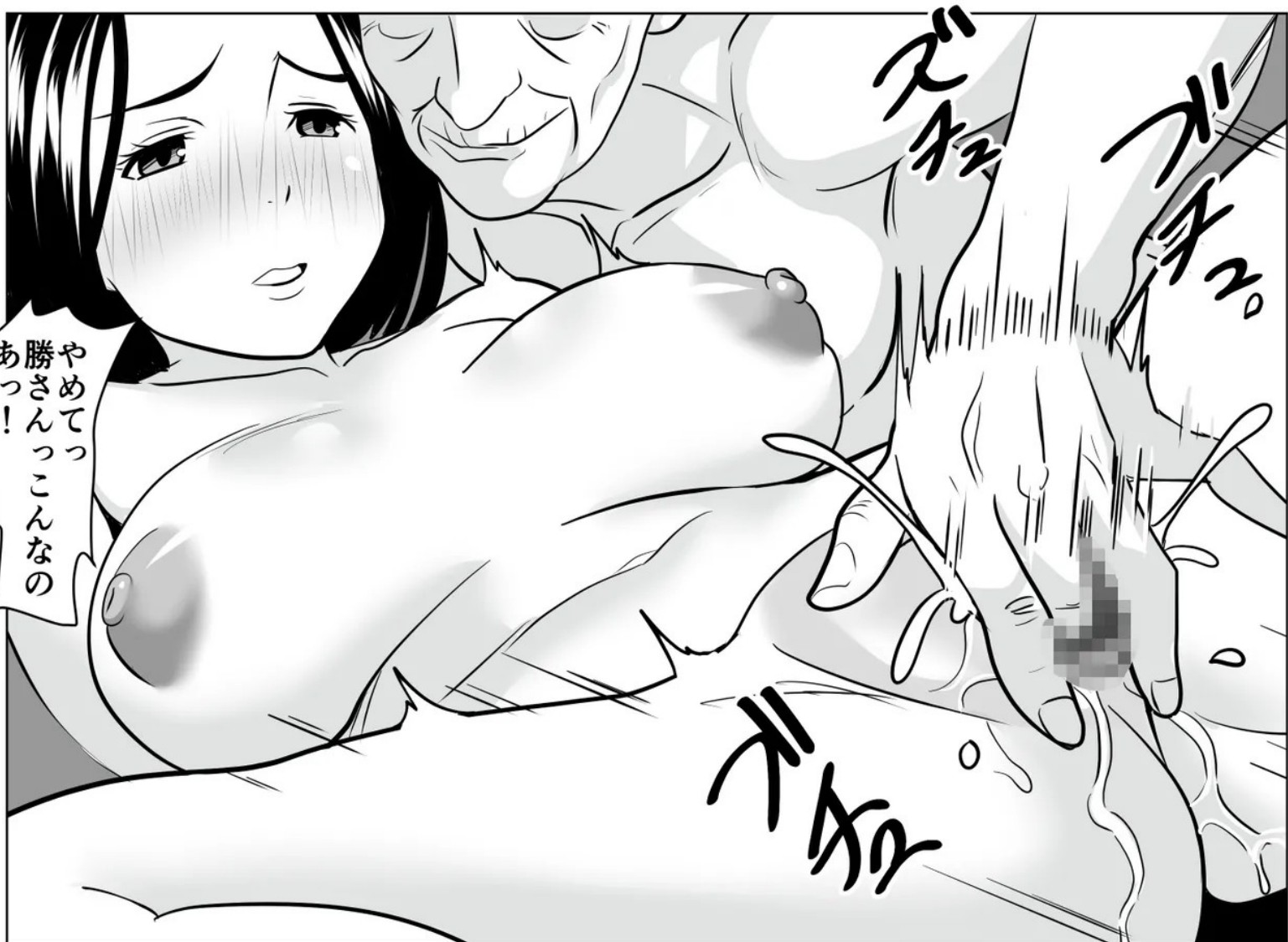
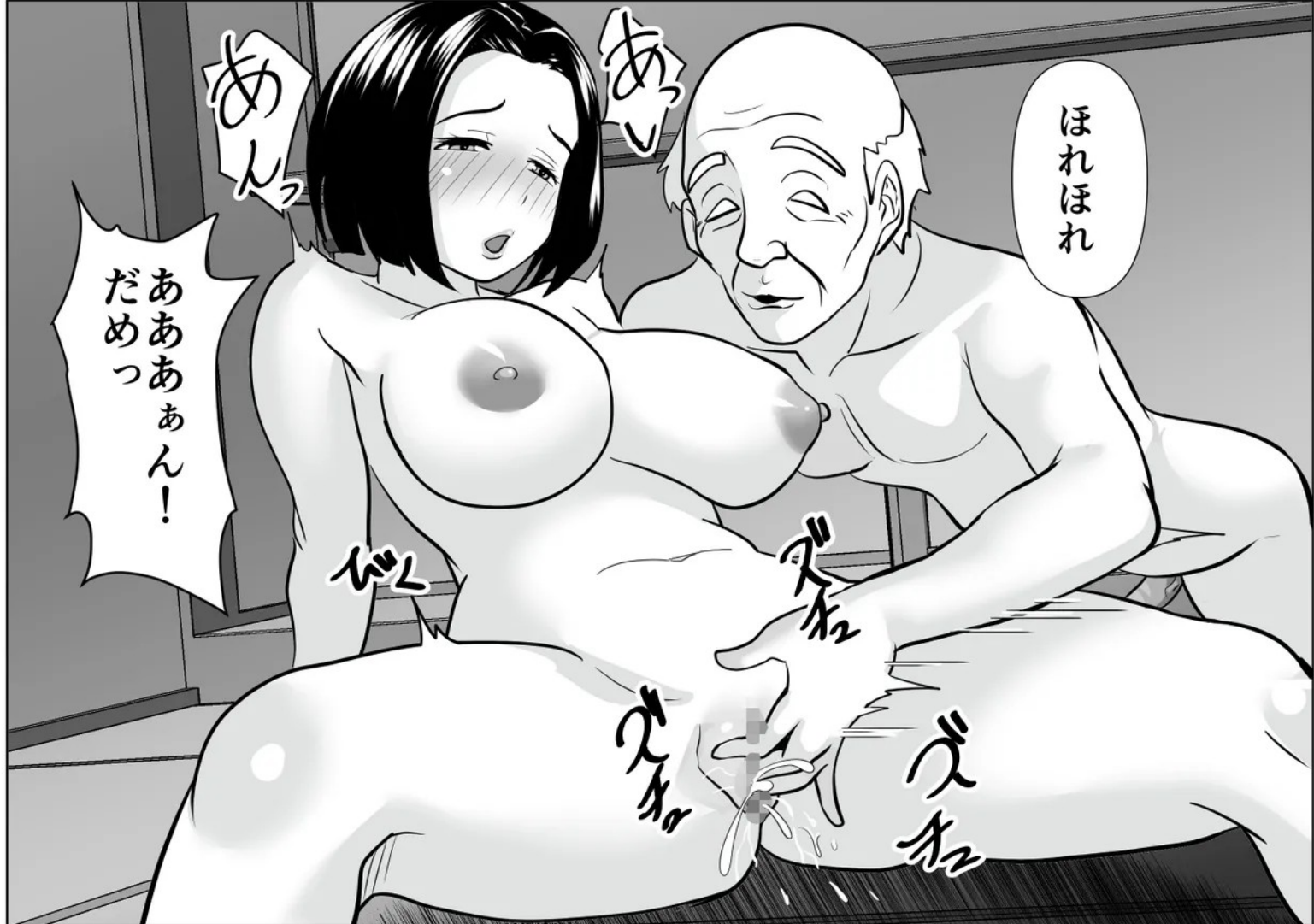


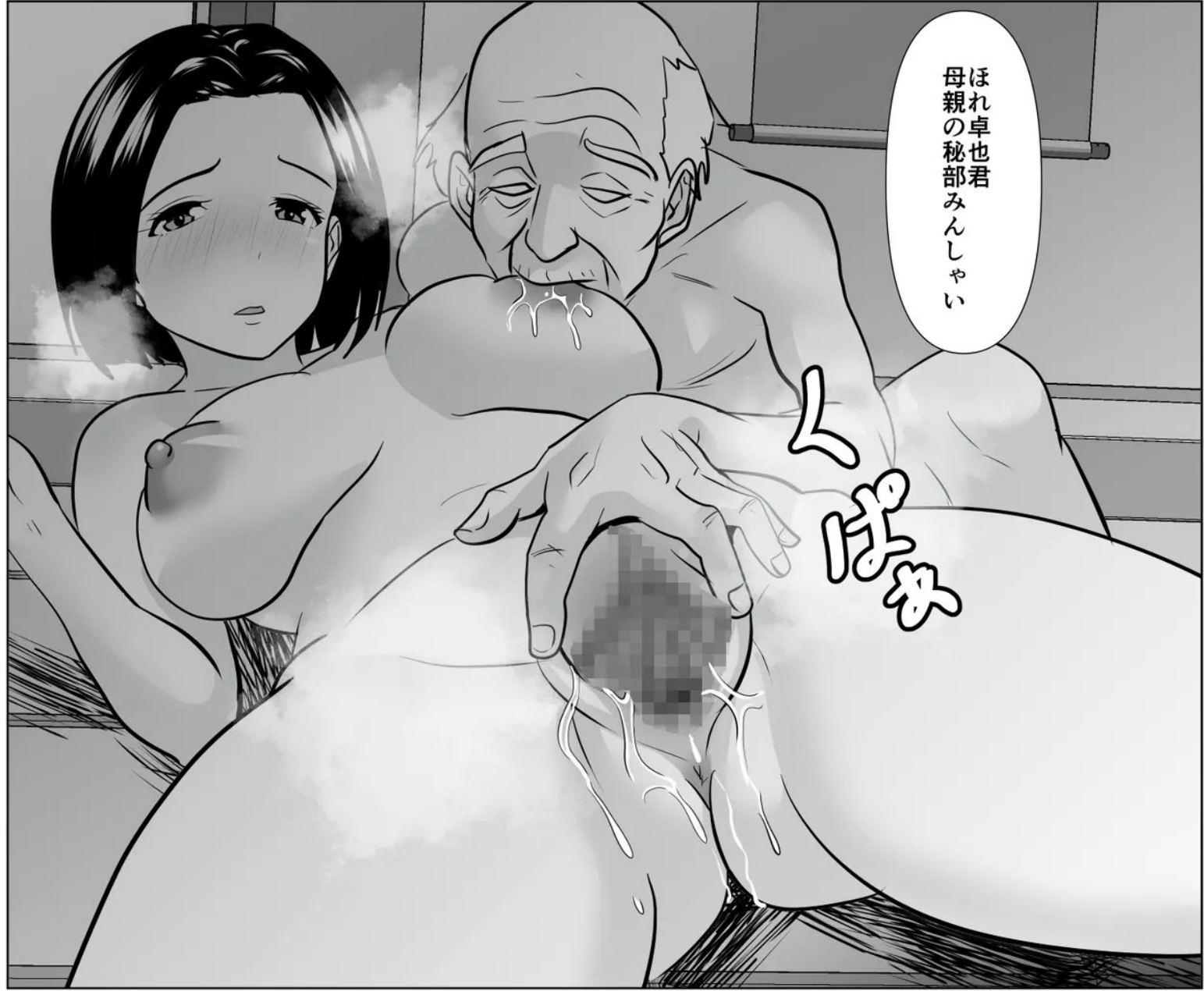
そしてワシの好物を











ほれ卓也君
母親の秘部みんしゃい

んぽん



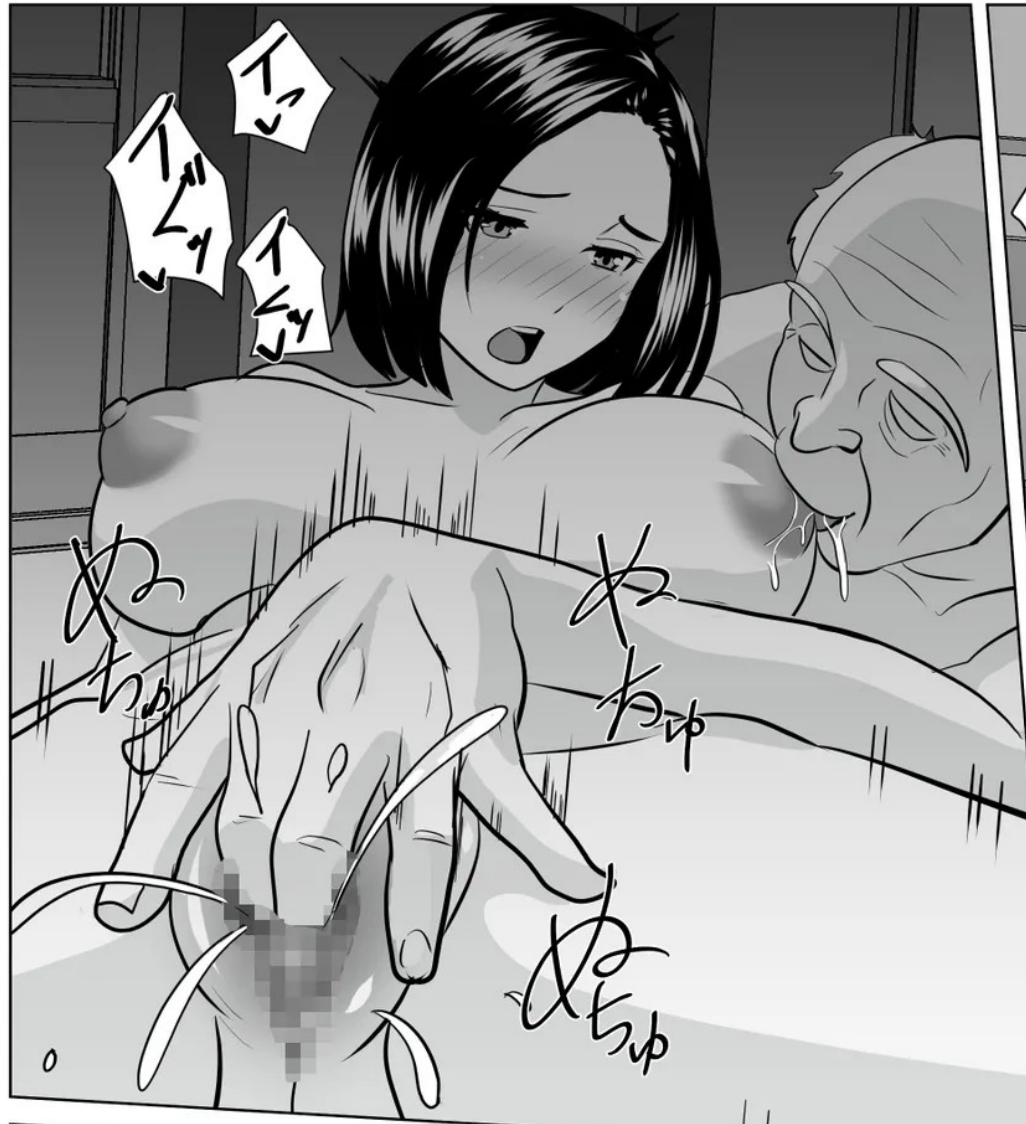
みないで卓也!
ああっ!

んぽん
んぽん

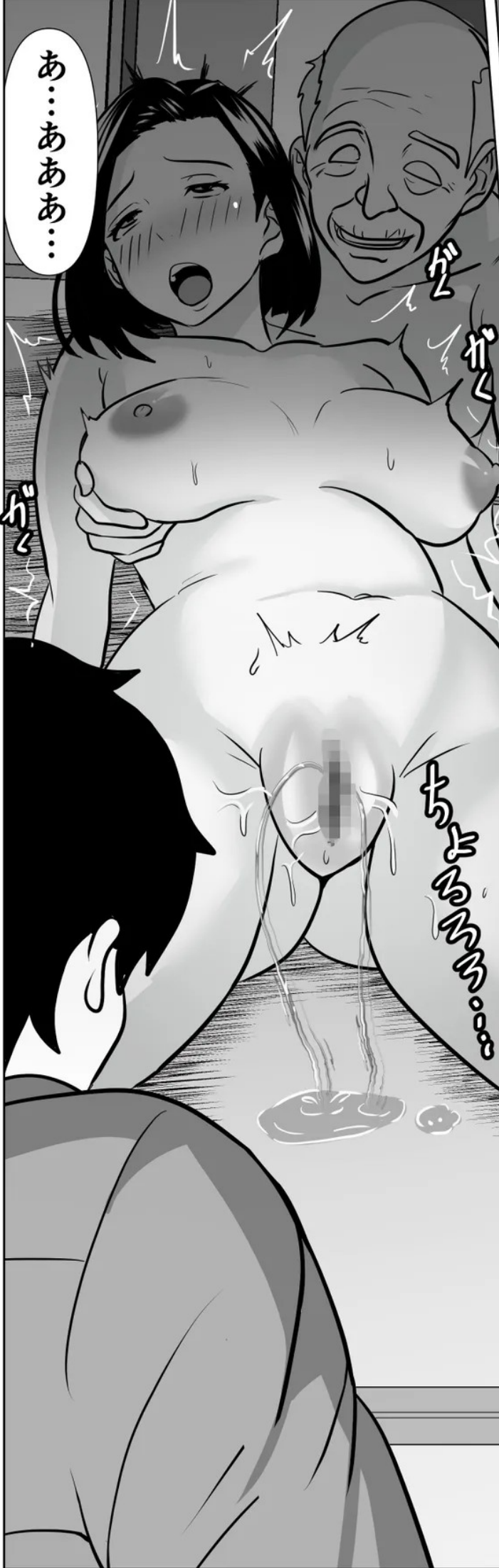


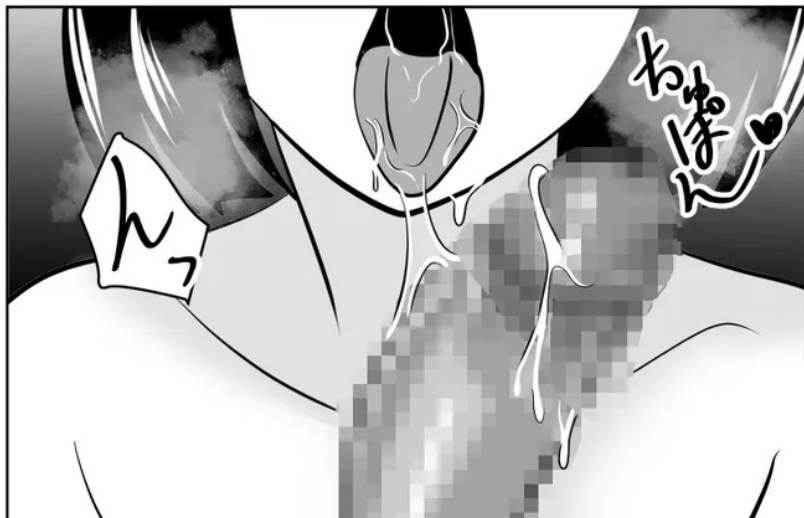
こんなに愛液が
溢れてるぞ

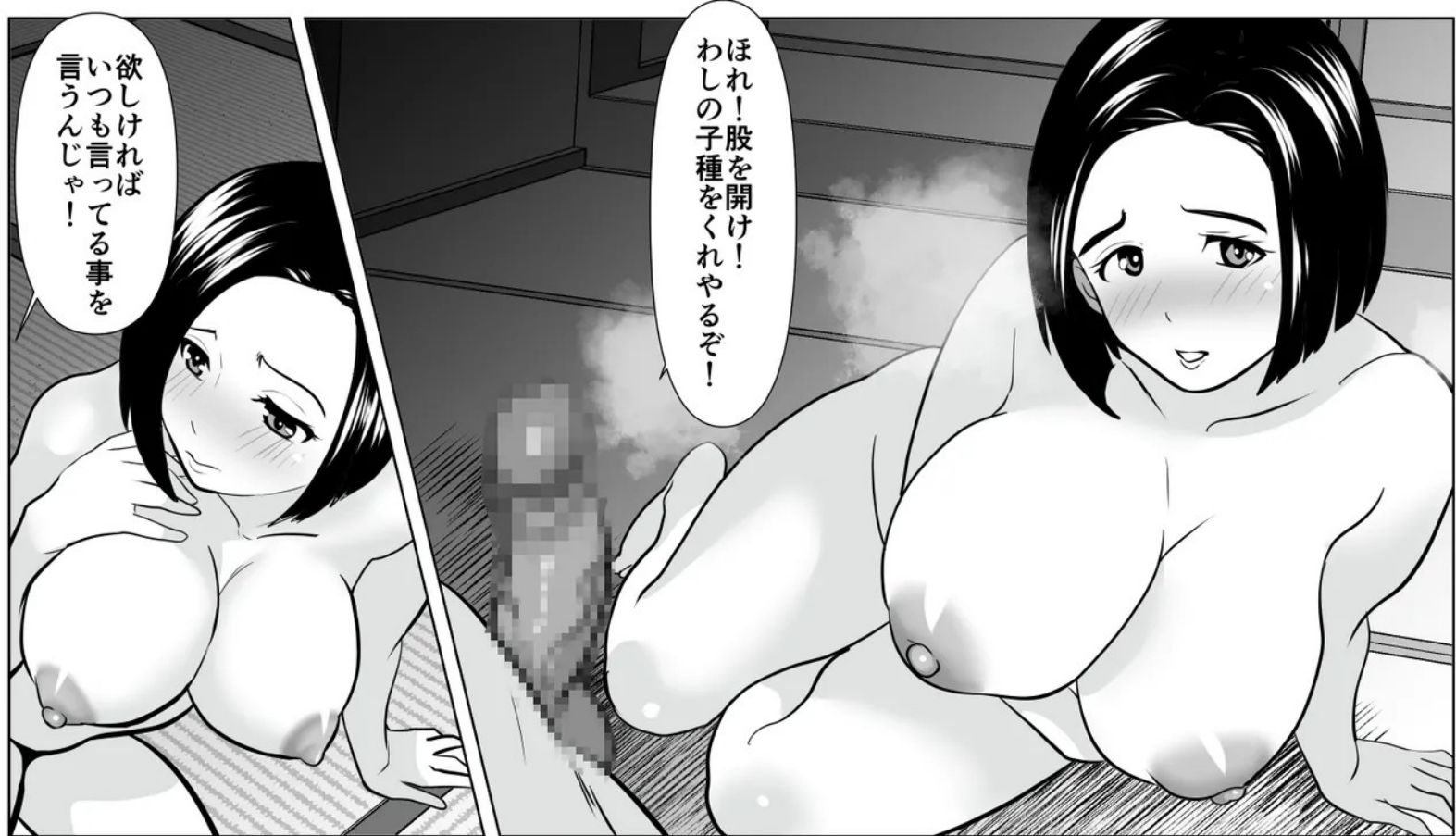
んぽん



あ...あああ...







欲しければ
いつも言ってる事を
言うんじゃない!

ほれ! 股を開け!
わしの子種をくれやるぞ!



私のおマンコに
勝様の天狗を
挿入してください!

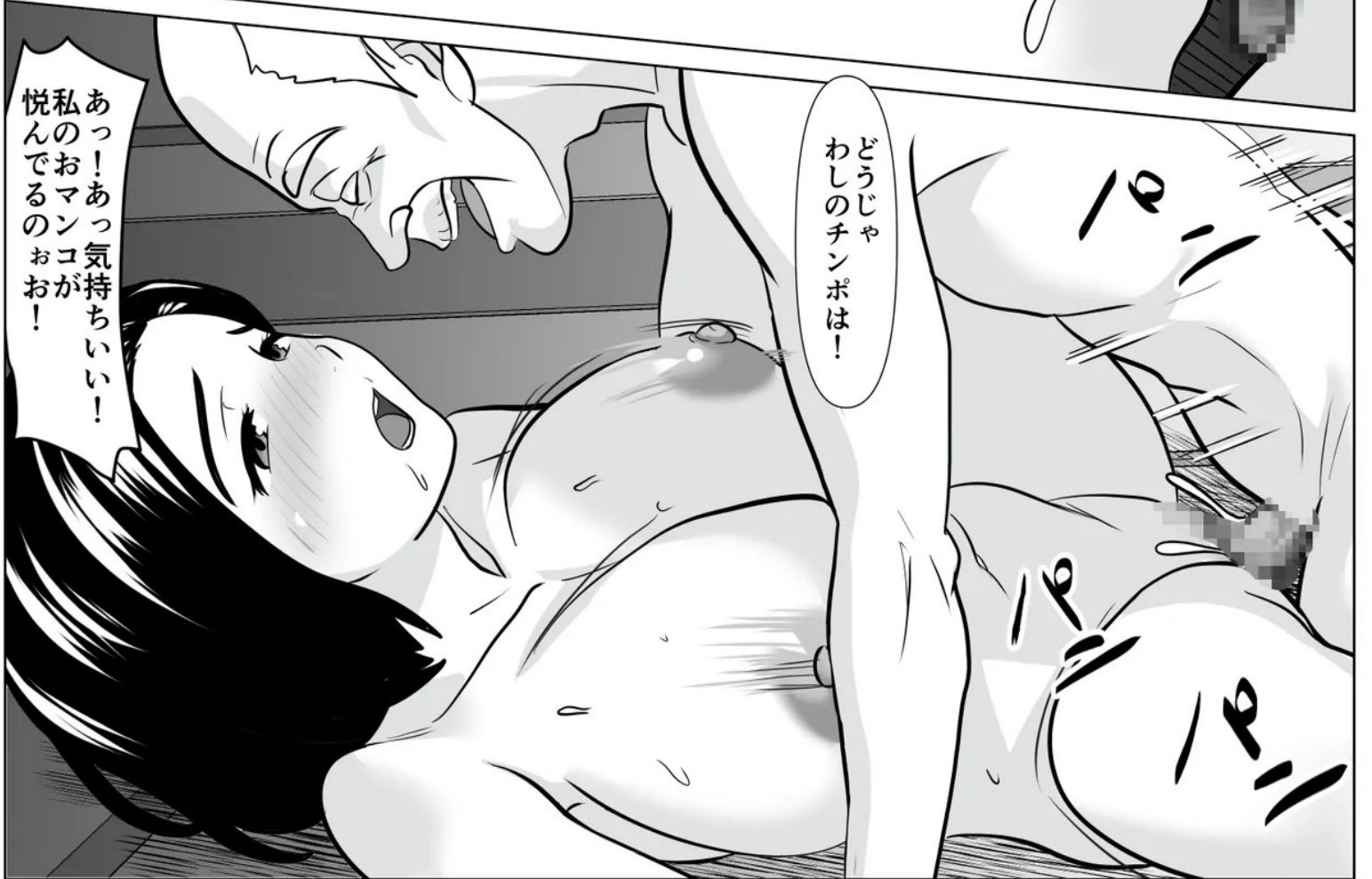
くはぁ

か、母さん!
なんで……!!



ひぐうううー!

ズズズ



あっ! あっ! あっ! 気持ちいい!
私のおマンコがおお!
悦んでるのおお!

どうじゃ
わしのチンポは!

ズズズ



母でもなく女として
チンポが欲しくて
愛がほしかったのおお!

そんなのっ!
欲しかったの!



ひっひっ!
そうじゃろう
欲しかったんだよな!

ずっと我慢して
我慢してチンポが
欲しかったんだよなあ!



そんな...
そんなの聞きたくないよ
母さんっつ!





あっ! あ!
ごめんね 卓也!
こんな雌豚の
母をもつてしまつて

息子に見せるんじゃ!
お前の女の顔を!

ぽん

ぽん

ぽん

んんん



違う... 違うのでも
我慢できなくて... っっ

ぐうううう...
僕なんかよりそいつの方が
良いのかよ!

んんん

パコ
パコ
パコ



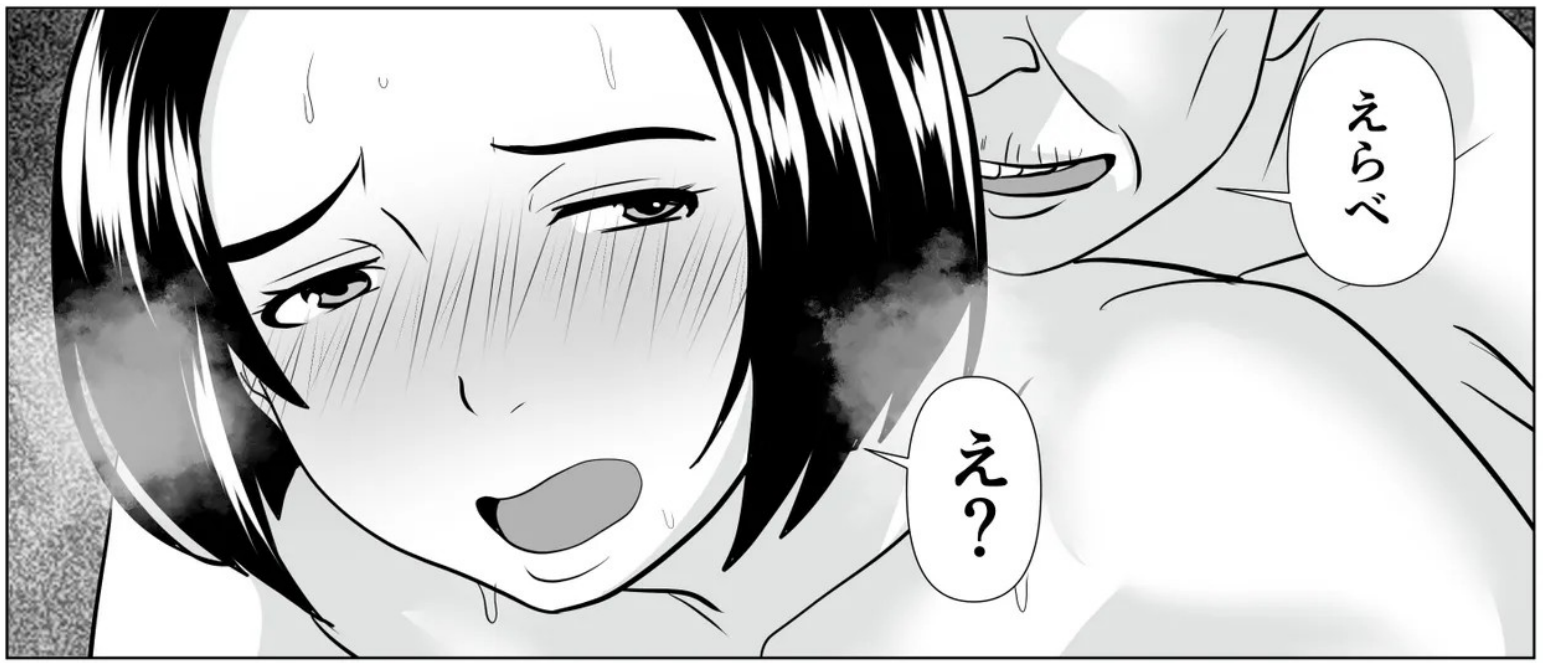
わたし勝様の
ペニスじゃないと
生きていけないの!

めい

んんん

パン

パコ



えらべ

え？



わしのペニスか息子か
どちらかを選べ
息子を選んだらわしは
二度とお主の前には現れん

そっそんな…

か、母さん…
お願いだ
いつものお母さんに

パコ

パコ
パコ
パコ

パコ

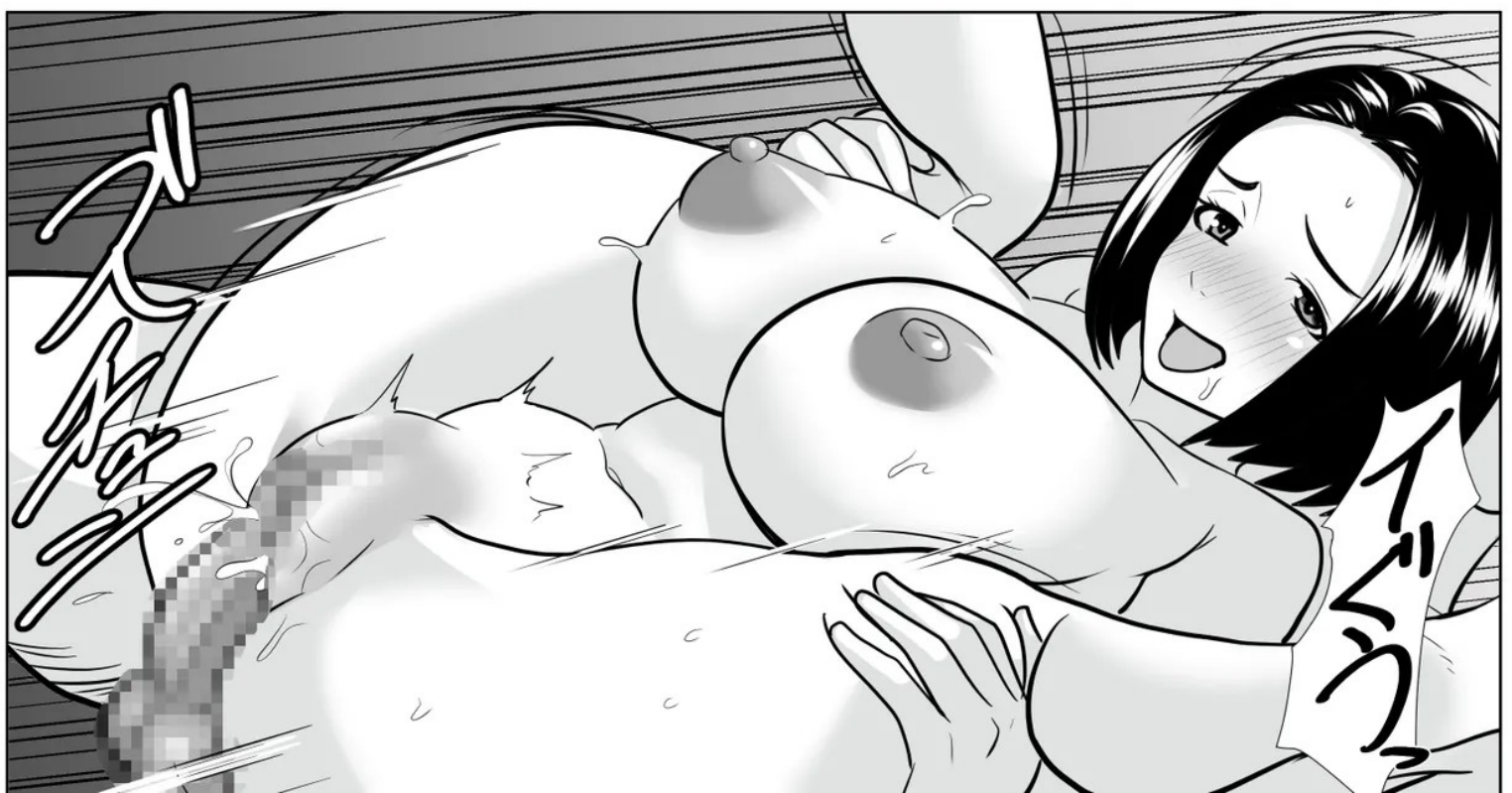
ごめんね
お母さん
おちんちんが大好きなの♡

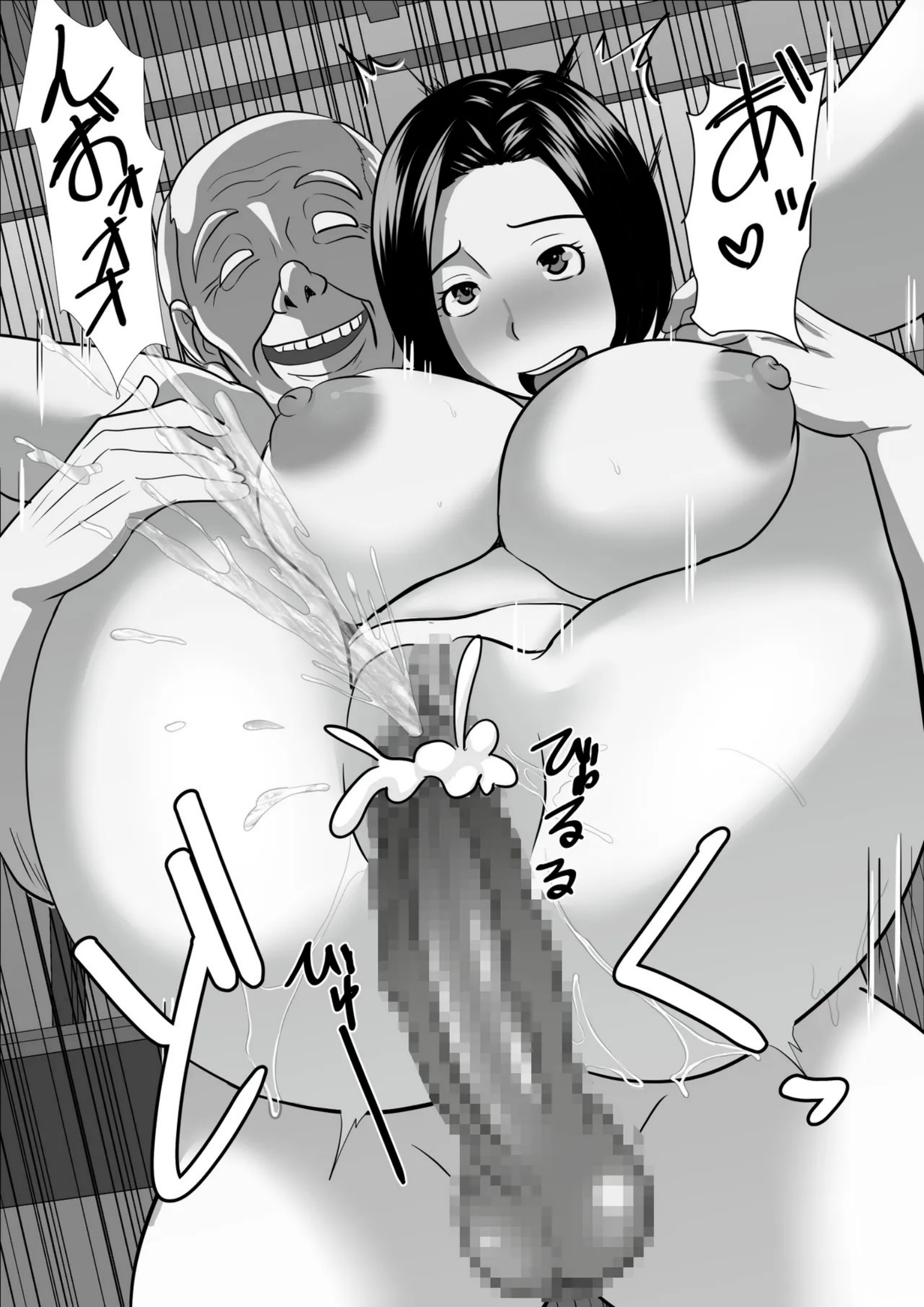
ヤ
ク
ヤ
ク

yy









んああ

あはは

あはは

ん



ひっひっひ
卓也君そんなしよげる事はない

しん...

いいか
男には役割があるんじゃない
お主はわしが死んだあと

お腹の面倒を見るために
一生涯尽くして
わしの子を育ててくれよ